

近隣にお住まいの皆様へ

大切な
お住まい

屋根防水

外壁塗装

安心ですか？

確かなプロの目でお住まいを診断します！

～再防水・再塗装～

無料診断受付中！



アリーフホームのリフォーム

arelief home



定期的に屋根の再防水・外壁の再塗装をすることが大切な住まいを守ります。

大切な住まいを守る屋根や外壁の防水・塗装膜は、10年～15年が再施工の目安であるといわれています。定期的な診断と再施工をすることが、長く快適に過ごしていく上でとても大切な事です。もしあなたのお住まいが10年以上屋根や外壁の診断を受けていないとしたら注意が必要です。また、以前に診断を受けて問題のなかった住まいであっても、劣化が進み再施工が必要となる場合もございます。

ただ今地域限定で、再防水・再塗装の無料診断を行っておりますので、ぜひこの機会にご活用ください。



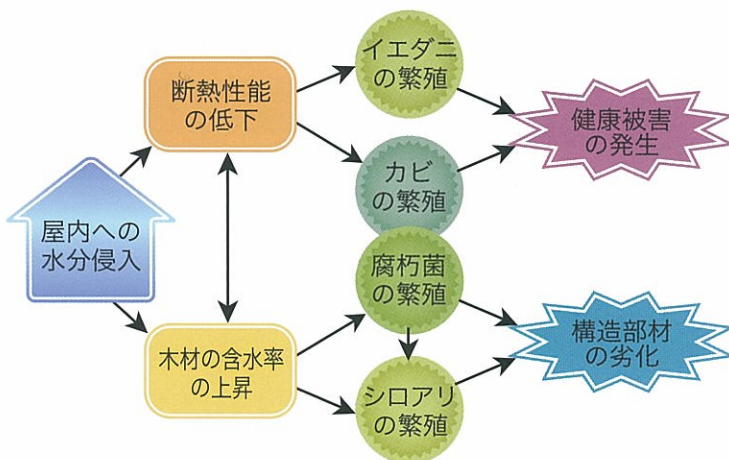
屋根の再防水・外壁の再塗装を怠ると、雨漏りの危険があります。

<住まいにとって一番コワイのは雨漏り!>

再防水や再塗装を怠っていると、やがて屋根や外壁の劣化部分や目地の亀裂、すき間から雨水が浸入し、雨漏りが発生します。

1. 雨漏りが起こると壁紙のめくれ、カビやシミ、腐食などの大きなトラブルの原因になります。

2. 雨漏りにより漏電が発生し、感電や火災の恐れがあり大変危険です。



雨漏りを放置したままでは構造体を傷める恐れもあり、トラブルが大きくなると、結果的に大きな出費となってしまいます。特に日本は一年を通して比較的雨の多い国なので、こまめな点検とメンテナンスを受けることをおすすめします。



屋根や外壁の劣化サインに気付いていますか？



外壁

塗膜面を手で触って、粉が付く場合は、塗装の保護膜が劣化しています。そのままでは、塗膜内・壁体内へと雨水の浸透が始まり構造体に影響が出てきます。

☆高圧洗浄にて汚れを落とし、塗装します。



※構造体への影響は、塗膜の下地材(モルタル塗り・サイディング貼り)により多少の違いは出てきます。

※塗膜の仕様・種類により、劣化していても手で触って粉が付かないものもあり、専門家に相談する事をお勧め致します。



目地シール

経年劣化により亀裂が入ると、雨水の浸入が始まります。手で押して弾力性が無く、硬くなってくると要注意です。

専門家の診断をお勧めします。

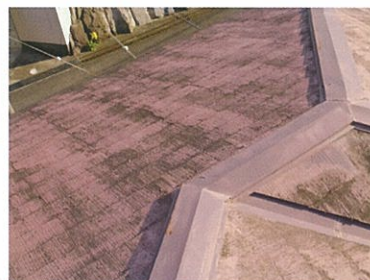
☆目地シーンを打ち変えます。



外壁に見受けられる 苔・カビ・藻

日当たりの良くない北面に多く見受けられる苔・カビ・藻等は、外観を損ねるだけでなく、乾燥を嫌い常に湿気ている為に浮遊物が付着しやすく、外装の表面の劣化を早めます。結果、雨漏りや内部腐食の原因となってしまう。

☆高圧洗浄し、防藻材料にて新しく塗膜を作ります。



屋根カラーベスト葺き

鋼板被せ

商品の種類や製造年によっては、アスベストが含まれており、劣化により飛散の可能性が出てくる為、取り除くか、覆ってしまう事が必要です。塗膜の劣化が進んでいる場合は、要注意です。

☆塗装するか、上から鋼板を被せる方法があります。



劣化を放置すると、雨漏りの原因に。雨漏りすると大掛かりな工事が必要となります。早めの診断と対策が大切です。



住まいの診断チェックシート ※チェックがひとつでもあれば要注意!!

- 外壁に亀裂が入っている。
- 外壁を手で触ると白い粉が付く。
- 外壁に苔やカビが生えている。
- 鉄部にサビが見られる。

屋根など自分で見る事ができない場所は弊社にお任せください。お客様に代わってしっかり診断します。

